

2019年度 ダブリンシティ大学春季英語研修報告書

2020年2月8日(土)～2020年3月8日(日)

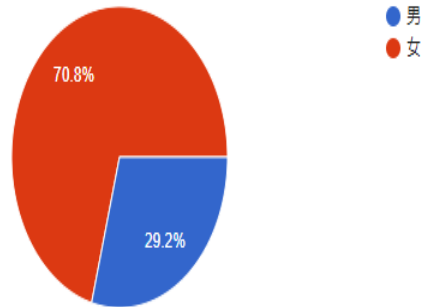
参加人数 24名

2019年度 ダブリンシティ大学春季英語研修 報告書 目次

1. 性別	24. ホストファミリーの家族構成
2. 学年	25. ホストファミリー宅での時間の過ごし方
3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？	26. 滞在した部屋について
4. 2019年7月1日（月）の春季英語研修説明会に参加しましたか？	27. ホームステイ中に起きた問題や困ったこと、その解決方法
5. プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？	28. ホームステイで印象に残ったこと、感想、来年度参加者へのアドバイスなど
6. プレイメントテスト（クラス分けテスト）について	29. 研修全体の費用について
7. プレイメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？	30. 研修中の食費に大体いくら（ユーロ）使いましたか？
8. 自分のクラス（レベル）の名前は何でしたか？	31. 朝食・昼食・夕食は、それぞれどのような場所で何を食べましたか？
9. クラスのレベルの満足度	32. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に、現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら（ユーロ）使いましたか？
10. クラスが一番多い時は何人いましたか？	33. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
11. クラスに立教生は（自分を含め）一番多い時は何人いましたか？	34. 日本から持参した電化製品を教えてください
12. クラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？	35. 持参すればよかったと思ったもの（電化製品、その他のもの）
13. 授業内容についての満足度	36. 持参したが不要だと思ったもの（電化製品、その他のもの）
14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？	37. レンタルWi-Fiを使用した感想
15. よいと思った授業内容について教えてください	38. ホストファミリーとの連絡手段
16. 改善してほしいと思った授業内容について教えてください	39. 日本の家族、友人との連絡手段
17. ダブリン城ツアーの内容と感想	40. 自由時間（放課後、週末など）は、どのように過ごしましたか？
18. キルケニーツアーの内容と感想	41. 危機管理（研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など）
19. ゴールウェイ1泊2日の内容と感想	42. 他の学生に、本プログラムへの参加をすすめますか？
20. 研修期間（4週間）についての感想	43. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。
21. 滞在したホストファミリーの名前（姓）を教えてください	44. 来年度参加者へのアドバイス
22. ダブリンシティ大学への通学手段、時間と費用	45. 英語力について
23. 通学方法はどのように確認しましたか？	46. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など

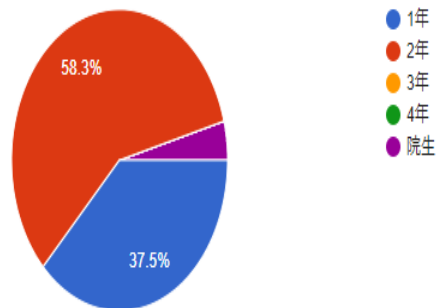
1. 性別

24 件の回答



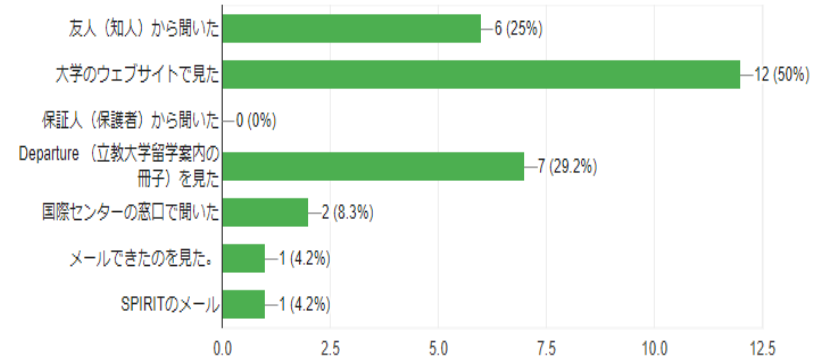
2. 学年

24 件の回答



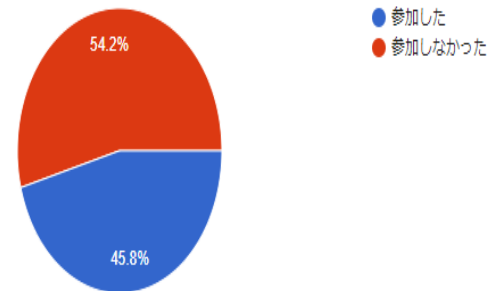
3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？

24 件の回答



4. 2019年7月1日（月）の春季英語研修説明会に参加しましたか？

24 件の回答



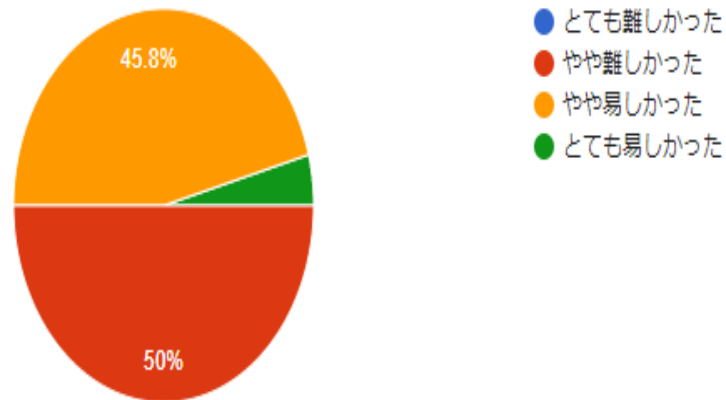
5. プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？

※複数回答可

ホームステイを試してみたかった	14人
時期、期間がよかった	14人
研修先大学のある場所(国)が魅力的または興味があった	13人
単位が認められる	13人
費用が安い(妥当である)	8人
研修先大学のある場所(国)が治安がよい	7人
長期留学をする前に短期留学を試してみたかった	7人
研修内容(授業内容)が魅力的または興味があった	6人
研修に含まれている課外活動(1日観光や泊まりの旅行)が魅力的	3人
保証人(保護者)にすすめられた	0人

6. プレイメントテスト (クラス分けテスト) について

24件の回答



7. プレイメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？

パソコンで自宅で行い中学~センターレベルの文法問題が複数と四十字の記述が3問あった。

オンライン上で行われ、文法問題やライティング問題があった。

文法問題を中心とし、ライティングの問題が幾つかあった。

インターネット上で行われ、語彙、文法、読解、記述の問題がバランス良く出題されました。

オンライン、文法メインで英作少し

文法がマークシート方式

インターネット上でのテスト。文法問題から、長文問題英作文問題等が出題された。

英文法、リーディング、英作文

ウェブで行われた出題された問題は基本的な文法と読解と簡単な英作文だった。

穴埋め形式の文法問題作文問題は3題

60分の時間制限があり、文法問題、ライティングを解いた

Web上 リスニングや文法問題

文法問題が35問くらい、長文は3題くらい、筆記は2題くらいで制限時間1時間、webテストだった。

TOEICのような問題

選択肢と小論文

オンラインテスト。文法問題と英作文。

オンラインで行われ文法や語彙、文章題が出題された。

webで語彙、文法、作文。

出国前にPCで文法、リーディング、ライティングが行われた。

パソコンで自宅にて基本的な知識が多かった

オンラインで英語の語句/文法問題

オンラインで行われ、基本的な語彙や文法、英作文の問題がでた。

オンラインで、基礎文法と語彙、作文

選択式の文法問題と英作文を時間内に解く

8. 自分のクラス（レベル）の名前は何か？

Upper intermediate

Intermediate

intermediate

Upper Intermediate

intermediate

Intermediate

intermediate

Intermediate

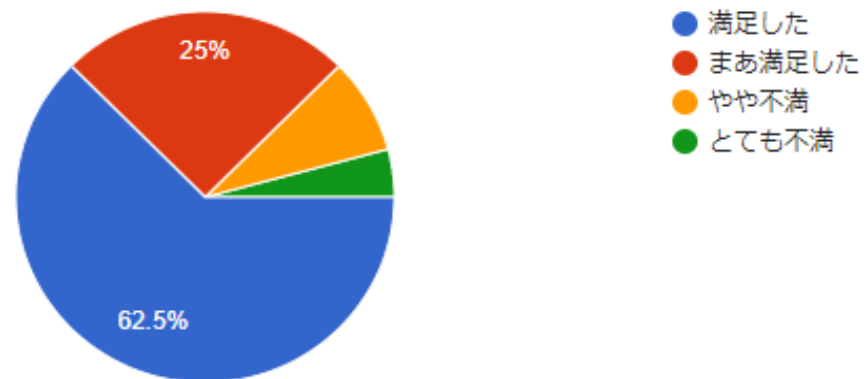
Intermediate class

Intermediate

Upper Intermediate
Intermediate
intermediate
Intermideate
intermediate class
Intermediate
Intermediate
Upper Intermediate
Intermediate
Intermediate
Intermediate
intermediate
Intermediate Class
intermediate

9. クラスのレベルの満足度

24 件の回答



4
5
5
4
5人
5
5
4
5
5
11
8人
5
5

12. クラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？

ルーマニア、スペイン、中国、韓国、フランス、トルコ
日本・東京女子大7人甲南大学3人韓国3人台湾1人
東京女子大、甲南大、韓国の大学生（2名）、ブラジル人（1人）
日本（東京女子大学2、岡山大学2）、トルコ3、ルーマニア1、スペイン1、韓国1、フランス1
韓国 台湾 東京女子大 甲南大
韓国1人 ブラジル1人 日本人10人
東京女子大学(日本)4人、甲南大学(日本)3人、韓国人3人、台湾人1人
東京女子大学、岡山大学、甲南大学、韓国人、メキシコ人、スペイン人
ブラジルから1人、東京女子大学から5人、神戸の大学から2人、韓国から2人、フランスから1人
韓国3人、台湾1人、東京女子大学4人、甲南大学3人
東京女子大2人、岡山大学2人、自分で留学に来ていた日本人2人、トルコ人3人、ルーマニア人、スペイン人、中国人、韓国人1人ずつ
東京女子大、ブラジル、フランス、韓国
日本女子大、神戸の方の大学、韓国人2人、アルゼンチン人1人、トルコ人1人、優秀な人はすぐに上のクラスに移動になっていた。
韓国2人、甲南大学3人、岡山の大学1人、アルゼンチン1人、トルコ1人
東京女子大学、甲南大学、韓国、トルコなど
韓国3、ブラジル1、スペイン1、東京女子大2、岡山大2
トルコ、韓国、中国、アルゼンチン 各1~2人
日本から4人、トルコやルーマニアなどから7人
韓国、メキシコ
韓国人2人・東京女子4人・甲南大学3人・アルゼンチン1人
ブラジル、スペイン：1 韓国：3 日本：10

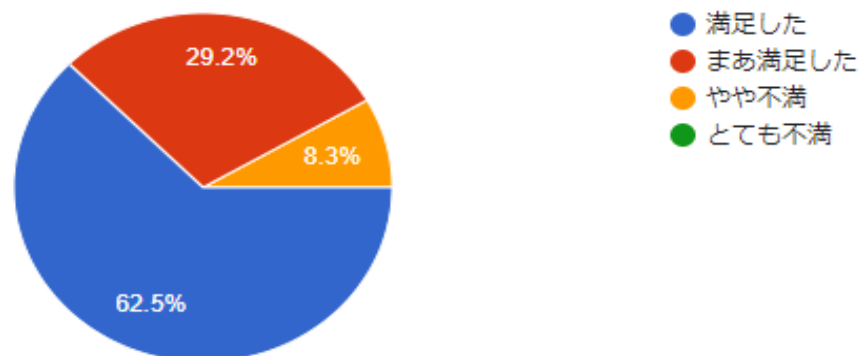
韓国やメキシコ

東京女子大学5人、韓国人2人、ブラジル人1人

韓国3人、台湾1人、他大学日本人8人

13. 授業内容についての満足度

24件の回答



14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？

先生によって違うようだったが、会話を中心にテキストを進めて行った。

基本的にグループワークが多かった。

文法も学んだが、主に生徒同士のディスカッションが多かった。

先生が明るい方だったので、クラスはとてもラフな雰囲気だったと思う。

教科書が配布され、教科書の内容を中心に四技能満遍なく学習していくように進められていった。

基本的に教科書に沿って進められましたが、分からないことがあればみんな即座に質問をして、そこから話が分岐し膨らんで新たな文法や語彙を教えてもらえることも多かったです。

立教1年次の英語の授業に似ている

先生が進めていく、ディスカッションが多い

テキストの内容について、ペアで意見交換や問題を進め、その後全体でのディスカッション形式。

教科書を使って英文法やボキャブラリーを習い、プリントを使ってリーディングやリスニングの問題を解いた。

2~3人のグループになってディスカッションやスピーキングをした。

週に一度発音のクラスがあった。

ペアワークや、ゲームを通して明るく楽しく学べた。先生の性格が楽観的なので毎日楽しかった。

<p>ペア、グループワークが多かった 最初に前日何をしたか話す→前回の授業の語彙の復習→文法の確認、作文、会話、読解、ペアワークなど 宿題の答え合わせ、文法の解説、Reading、時々ゲームで単語を確認 1週間ひとつのテーマに着目して学び、金曜日にテスト 私のクラスは割と文法メインで教科書通り進められていた。英語で話し合いをする時間もあり、スピーキング力もついた。 基本ペアワーク 毎週金曜日テストがあります、文法、発音、読解、聴解、作文など。 文法について英語で学んでいた感じ。教科書準拠の座学が多いクラスだった。 オープンクエスションを用いて明るく楽しく勧められた。 宿題確認（文法など）、文法、会話、リーディング、作文などの順に教科書のテーマに沿って進行。 教科書の内容に沿ってリーディングやリスニングが行われた。また、後半の時間はカードゲームなどを通して英会話もした。 テキストに沿って、時々プリントを使いながら 先生は個人に質問するのではなくクラス全体に聞く 自分から発言しようと思わなければただ聞くだけになりがち 私は英語を話すことに慣れたかったので、少しでも多く発言の機会を作れるようにしていました。 英語のディスカッションの授業のような感じ 全て英語で、ゆっくりとしたペースで進行する 自由時間に行ったことの報告、カードを用いてのアクティビティ、トピックについてのディスカッション 簡単なゲーム、グループワークなど英会話中心</p>
<p>15. よいと思った授業内容について教えてください</p>
<p>誰かが質問すると先生が話を広げて文化や語彙を教えてください。 アイルランドのことについてたくさん教えてください。 イタリアからの留学生のクラスの生徒と会話した授業 空港で使われる用語の学習や、機内アナウンスのリスニングを行ったことです。 帰国の際、授業で習った単語が空港各所で見られて、少し学習成果を感じられました。</p>
<p>ペアワーク クロスワード 毎授業の冒頭に行っていた単語かるたゲーム。前日に学習した単語や熟語が書かれた40枚程度のカードを全員で囲み、一人ずつ単語の意味を、その単語を用いずに英語で説明し、それに回答していくゲーム。2チームに分かれたことで、競争的な意味合いを持ちつつ、効果的に学習できた。 週に一度ある発音のクラスでは日本人が苦手なRとLの発音の違いをわかりやすく説明してくれたり、実際に会話をするとき非常に役立った。 イタリアの留学生との合同授業。普段は関わりがない子たちと知り合うことができ、楽しかったし、国による英語の発音の違いや文化も学べてよいと思った。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・二列に並び1人ずつ移動して会話すること ・前日の出来事を話すこと ・前回の復習をすること ・2～3人で会話すること ・伝統音楽の授業

General English(毎日ある英語の授業) 毎日新しいことを吸収でき、英語力が伸びたと思う。
楽しみながら学べた
先生が英語で話す機会をよく与えてくれたので、スピーキング力がついた。また、一日二十分、映画でもなんでもいいから英語に触れて、知らない単語を5個書いてくる宿題があり、それがとても良かった。最初全くわからなかったが、徐々に細かい単語がすぐには理解できないが聞き取れるようになった。
全て
毎日宿題があります、普通の宿題以外、毎に自分が好きな方法で英語を学び、20分以上、5個単語を書くこと、次の授業で皆とシェアする。
文の途中で切られた紙を文法に沿って並び替える問題。頭使った。
ディスカッション
英語のスピーチを聞いて内容についてディスカッションした。
ゲームを通して英会話をしたり、発音を復習出来たりしたのがよかった。
culture class1
ケルト音楽の紹介とダンス 歌ったり踊ったり楽しかった。 ただ、もっと早い時期に知りたかった。
先生がやさしく教えてくれた。
ゲーム形式のアクティブな授業
クラスの人との英会話とその指導
毎回みんなの前で英語を話すタイミングがある
16. 改善してほしいと思った授業内容について教えてください
特にない。
満足しているので、特にない。
授業内容ではないが、どのクラスにも日本人が多すぎるように感じた。国籍、地域をミックスしてクラスを編成して欲しかった。
先生が少し適当なところがあり、一度だけですが授業中に30分ほど個人でライティングをさせられたことがありました。そういったことは宿題にして、もっと会話の機会を増やしてほしいと思いました。
なし
日本人の多さ、他の大学の日本人の英語のレベルの低さ
とくになし。
クラスに日本人が多く結局日本語を使ってしまうことが多かったです。もう少し日本人の数を減らし多国籍のクラスとなるように配慮してほしいと思った。 また、普段の授業は正直立教の授業内容とあまり変わらないと感じ、物足りなさを感じた。もう少しスピーキング重視の授業を行って欲しかった。 また我々のクラスの先生は盛り上がり欠け、クラスがシーンと静まり返り、非常に退屈だった。
特になし。
伝統文学の授業はただ渡された文章を読み、それについて話すだけだったので無くてもいいと思った。もう少しどんな作家や話があるか、表現などについて学びたかった。
Cultural Studies もう一つのクラスではアイリッシュダンスの実演があったらしいが、ずっと座学だったため眠く感じてしまった。
なし
文法よりもスピーキングをもっとやりたかった。

無し
教科書をプリントして、皆に配ってほしい
日本でも学べるような基礎事項を説明される時間が長かったのもっと話す時間に割いて欲しかった。
ずっと説明のみを受ける授業
毎週のテストが自己申告制で（やろうと思えば）点数をごまかせること。
もう少し英会話をするなど実践的な内容の時間を増やしてほしい。
culture class 2
伝説を読む。長かった。
クラスが簡単すぎた。
ない
知っている英単語についての座学
特にはないです。
17. ダブリン城ツアーの内容と感想
とてもコンパクトで効率よくダブリン城が見れてよかった。
外国人のガイドのもとお城をみてまわった。 ダブリン城の歴史を知り、雰囲気を楽しむことができた。
ガイドが付いてくれて良かった。自分ではいこうと思わなかったのでツアーがあって個人的に良かった。
参加していません。
ダブリン城内のガイド付きの見学、満足
工事中であまり良くなかった
ダブリン城の歴史や概略について説明をうけた。これらについて知ることができた。ツアーに組み込まれていなければ、行くことはなかったと思うので、その面ではよかった。
ダブリン城までガイドが連れて行った後自由行動 平日の午後など時間はいくらでも作ることができるので、ダブリン城へ着き自由行動になるくらいなら、各自時間があるときに観光した方がよっぽどいいと感じた。
古いダブリン城と改装されたダブリン城をスタッフの解説つきでまわった。教会のような雰囲気の部屋や、大きなテーブルとシャンデリアのある部屋、かつて女性達がお色直しをしていた、鏡だらけの部屋など色々な部屋があった。どれもすごく広くて綺麗だったが、おばけが出ると噂のお部屋は怖かった。
内容 ダブリン城に到着後、外側を見る自由時間。 その後、中に入り解説を聞く。
感想 ダブリン城について話を聞いたので良かった。
大学側が詳細のメールを送ってこなかったため、自分たちで大学のオフィスへ伝えに行った。ツアーはダブリン城のガイドさんがわかりやすく案内してくれたためよかった。
ガイドが丁寧で良かった
ダブリン城回るだけです。
正直必須化する必要はないと思う
時間が守らない
ガイドの方が細かく説明して下さったので自分で足を運んだら得られない知識を得られた。

とてもきれいだった。ガイド付きだったためよりダブリン城について学べた。

歴史的背景を知ることができた。

英語で説明もあり、城の中を見学する時間も十分にあった。

ダブリン城の歴史

きれいな部屋で写真をたくさん撮れた。

悪くはなかったが、見るところもなかったのではなくてもよかった。

ダブリンの歴史を知れた

担当の方が分かりやすく解説してくださった。

歴史が感じられてよかった。

18. キルケニーツアーの内容と感想

日曜日だとお店がたくさんしまっていたので曜日を变えた方がいいと思った。

キルケニーの博物館や城をみてまわった。

途中で雨が降ってきたりすることもあったが、天気も良く歩いていて気持ちよかった。

街の雰囲気は少しダブリンとは違い、カフェなどに入り楽しむことができた。

ガイドがキルケニー城を案内してくれて良かった。フリー時間もあり好きなように見て回る時間もあったので良かった。

移動時間は1時間半ほど。

ガイドの方が街を軽く案内して下さり、その後自由時間。

しかし自由時間は2時間ほどしかなく、私はご飯を食べてカフェに行っただけで終わってしまいました。

ほとんど自由行動、満足

やらなくてもいい

キルケニー城とその周辺の散策を行った。天候が良かったこともあり、きれいな街並みを味わうことができた。日帰り旅行ということもあり、移動にかなりの時間を割かれてしまうため、正直この日程にこのツアーを入れるメリットは感じなかった。どうしても行かなければいけない魅力や学術的なポイントも見受けることはできなかった。

キルケニー城、大聖堂、ミュージアムを訪れた後自由行動

ホストファミリーにキルケニーには何も無いと言われたが、その通りだった。ダブリンよりも人が少なく穏やかで静かな街という印象だった。自由行動でキルケニーのカフェ巡りしたのが楽しかった。

伝統品や高級な家具を見学したり、お墓に行ったり、ローズガーデンを訪れたりした。魔女が閉じ込められていた建物やアイルランドのスポーツの銅像なども見た。伝説や歴史の解説と伴に楽しむことができ、当時の様子を想像しながら見て回ると面白かった。途中雨が降ってくることもあったが、アイルランドにしては天気は良く快適に過ごせた。しかし、途中コロナウイルスは出ていけと現地の人から怒鳴られることもあり、傷ついたりもした。

内容

少し歩き、キルケニーについて話を聞いた。

その後、自由行動。

感想

お城や有名な話を聞いた点は良かった。キルケニー城の中に入って見たかった。ダブリンから近く、早く帰れるのももう少し自由時間が欲しかった。

大学の方が城や教会の前まで案内してくれたが、中に入るのは個人、という形だったので、一度集合場所に行ってから戻る必要があった。なので事前にお金を払って中まで案内してくれる方が良かったと思う。また、自由時間が短く、早く大学に着いたので自由時間ももう少しあっても良かったと思った。

キルケニー城に全員入れると思っていました。すこしがっかりした

とにかく自由時間が短い。2時間くらいしかなかった。バスは楽しい。

上と同じく

行く意味があまり分からない

日曜日のキルケニーは閉まっているお店も多く閑散としていた。自由時間の過ごし方にも若干困ったので今後は日付や行先を改善して欲しい。

ダブリンとは違った景色を楽しむことができた。しかし移動時間のわりには見るものが少なかった。

天気が悪かったが、買い物を楽しんだ。

移動時間が長いせいか、滞在時間が短く、キルケニー城の中を見学することが出来なかったりとあまり記憶に残っていない。

有名な場所の紹介のあと自由時間

カフェや教会に行けて楽しかった。

景色を見ることが多く、まあまあよかった。

綺麗な歴史ある街の散策は貴重な経験だった

いい街でした。

日帰り旅行は時間が足りないと感じた。もう少し時間が必要だと思った。

19. ゴールウェイ1泊2日の内容と感想

事前にどこに止まるのかを教えて欲しかったが、とても素敵な街だった。

東京女子大の生徒と一緒に大型バスで向かった。初日はゴールウェイのシティセンター。バスガイドの方と一緒に博物館に行き、さまざまな歴史などについて説明してもらった。とても丁寧に教えてくれたので理解することができ、興味深かった。その後は自由行動をし、夜はパブにて夕食をとった。

夜はホテルで休む人もいれば、パブでアイルランドの夜の雰囲気を楽しむ人もいたようだった。

2日目。モハーの崖に向かった。このような大自然に圧倒された。とても綺麗な景色を見ることができた。

内容自体は良かったが、何時に何処に着くなどのスケジュールが全くわからなかったので来年は改善して欲しい。

移動時間は3時間ほど。

1日目は到着後ガイドの方が街や博物館を軽く案内して下さり、その後自由時間。

2時間ほど時間があつたので、私は友人とレストランやカフェに行きました。

その後、全員ホテルに集合し、事前に予約されていたレストランで夕食をとりました。

夜の過ごし方は完全に自由だったので、私は友人と何軒かパブに行って、アイルッシュ音楽を聴いたり、お酒を飲んだりしました。

私のホストファミリーは厳格にはないのですが門限を設けていたので、泊まりだったこの日は思う存分遊ぶことができて楽しかったです。

2日目はモハーの崖へ行きました。

崖の付近はかなり足元がぬかるんでいるので、ヒールを履いていた友人は苦しんでいました。とても景色が綺麗でした。ハリーポッターのロケ地になったことがある？そうなので、事前に映画を鑑賞するなどして予備知識があればもっと楽しめたかもしれません。

ゴールウェイの街中散策とモハーの崖の観光

とても満足だったが宿泊施設が8人1部屋で少し窮屈だった

かなり良い一日目に市内観光 2日目にマラーの断崖を見に行く

ゴールウェイの街並みやミュージアム、モハーの断崖の見学を行った。これらは非常に素晴らしいものだった。ただ宿舎は、男性8人が、シャワーもトイレも一つの部屋に押し込まれ、ドライヤーやシャンプー、タオルすらなく、快適とはとても言えない環境であった。経済的負担を負ってでも、もう少し快適な環境にアップグレードしていただいてもいいと感じた。また、キルケニーとゴールウェイ両方のトリップに言えることであるが、事前にスケジュールの詳細を提示してほしい。屋食の時間やアメニティの有無など情報不足の点が多々あり、非常に心もとなく感じた。

1日目はシティセンターツアー、2日目はモハー断崖を見に行った。

1日目のツアーが終わった後、ガイドに勧められてアイルッシュパブに行ったが、Irishの音楽などを実際に聞けて非常に良かった。モハーの断崖も絶景で、非常に印象に残っている。

博物館やアイルランドで1番早い川を見学した。博物館では大きな船の展示や、海底をイメージしたコーナー、歴史的なコーナー、塗り絵のコーナーなどがあり、大人から子どもまでの広い世代が楽しめる博物館だった。川はかなりの早さで流れ、色は濁っていた。個人的には川というもう少し綺麗なイメージがあったのでこんなに汚いのかと驚いた。また泊まったところはホステルだったが、シャンプーもボディーソープもなく、夜中には廊下を酔っ払いが叫びながら通ったりドアを不要意にノックしてきたりと落ち着いて滞在できるものではなかった。事前に泊まる場所の名前や形態を教えてもらえたらシャンプー等の準備もできるので、メールなどを使って把握できるようにした方が良いのではないかと感じた。

内容

1日目:ゴールウェイの街を見て周り、博物館に行った。その後、ホステルに戻り自由行動。

2日目:モハーの断崖に行き、自由行動。

感想

遠くて自分では行きにくい場所なので予定に入っていた点良かった。タイムスケジュールや泊まる場所について予め知っておきたかった。

事前にどこに泊まるのか連絡が一切なかったため不安だった。ホステルだったため、自分でバスタオルやドライヤーを準備する必要があったため、事前に知らせてくれると準備がスムーズにできたと思う。自由時間が多く比較的自分たちのペースで楽しめた良かった。

とても良かったが、ホテルが酷かった

ゴールウェイのホテルは期待しない方がいい。シャワーの水圧が弱すぎて水滴で体を洗ってるようであった。一泊するので遅くまでパブにいれるが大体パブは2時で閉まるので気をつけた方がいい。

自由時間が多く楽しかったがホテルの質が悪い

泊まったホテルがとても悪かった、隣の部屋が音がずっと出て、寝られなかった

天気が良かったのでモハーの崖は楽しめた。ツアー全体の段取りの悪さを感じた。

とても充実した濃い時間になった。とても美しい街並みで魅了された。

モハーの崖は素晴らしかったが、宿泊施設があまり衛生的でなかったのが改善点と思う。

自由時間が長く、様々な観光地を回ることが出来た。特に印象に残っているのはモハーの断崖で大自然を感じる事が出来た。また、ゴールウェイの街並みもカラフルで音楽があふれていてとても楽しかった。留学中で一番印象に残った観光地だった。

一日目は歴史の紹介と自由時間、夕飯。二日目はモハーの断崖。

泊まったホステルが臭く、機会の音が一晚中うるさかった。

モハーの断崖に行くまでの道でバスに酔う人が多いので注意。

外泊できる点がとてもよかった。

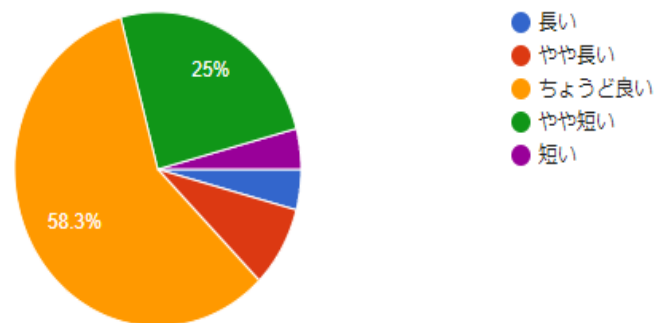
アイルランドの自然の雄大さを肌身で感じた

担当の方が親しみをもって接してくれた

1泊2日のスケジュールは妥当でした。いい街で、充実した時間を過ごせました。

20. 研修期間（4週間）についての感想

24 件の回答



21. 滞在したホストファミリーの名前(姓)を教えてください	22. ダブリンシティ大学への通学手段、時間と費用	23. 通学方法はどのように確認しましたか？	24. ホストファミリーの家族構成
Regon	バスと徒歩で1時間、往復11ユーロ程度。	ホストファミリーに聞きながらグーグルマップで調べた。	旦那さん、奥さん、娘さん、息子さん
メアリー	バスと徒歩で30分往復3ユーロ	ホストマザーに教えてもらった	滞在していたのはマザーだけだった。
Gaffney	バスと徒歩で約30分、往復3.1ユーロ	初日にホストマザーに教えてもらい、迷ったときはGoogle マップを参考にした	ホストファザー、ホストマザー、韓国からの留学生1人、自分、犬1匹
Kerfoot	バスと徒歩で30分ほど、往復4.5ユーロ	現地到着後ホストファミリーに尋ねました。私の場合は、初日ホストマザーが学校まで車で送ってくれて、その時に何番バスに乗ってどのバス停で降りればいいのかを丁寧に説明してくれました。	父母、娘2人(6歳と8歳) 滞在2週目に1週間だけイタリア人留学生2人
elaine dean	バスと徒歩で20分 往復1.55x2ユーロ	ホストファミリーが教えてくれた	母 息子
Smith	バスで25分往復4.5ユーロ	Googleマップ	シングルマザー 娘と息子1人ずつ 韓国人が2週目まで1人
Brennan	家からバス停まで徒歩10分程度。バスで10分で大学。片道1.55ユーロ。 家から大学まで徒歩で30分程度。 比較的平たんな道が多く、徒歩でも苦にならないため、留学生活の後半は、基本的に徒歩通学していた。	ホストファミリーに尋ねた。	父、母、息子、娘、娘、息子、留学生？
Caird	徒歩で25分	現地到着後ホストマザーが実際に一緒に大学に行き行って教えてくれた。	ホストマザー、ホストファザー(仕事の都合で1週間半ほどしか居なかった)
Angela	徒歩で30分	グーグルマップで調べた。	ホストマザー、犬
Ms.Newman	バスで20分、往復3-4ユーロまたは徒歩30分	Googleマップで調べたり、ホストファミリーに尋ねた	ホストマザー1人
Rosney	バス20分、徒歩合計25分 往復4.5ユーロ	現地到着後ホストファミリーに尋ねた	ホストマザー、ホストファザー
貰っていた情報と違うホストファミリーで、変更の連絡も無かったので下の名前しか知らない	バスでと徒歩で40分、往復5ユーロ	ホストファミリーが教えてくれた	父、母、娘
Haverty	バス二十分徒歩二十分 バス代が往復2.25ユーロ	ホストファミリーが教えてくれた。	父、母、娘、息子、犬一匹、猫一匹
Carol Redmond	バスと徒歩、往復4.5ユーロ	グーグルマップ	ホストマザー
Flood Chris	バスと徒歩で40時間、往復5ユーロ	グーグルマップで調べた、現地到着後ホストファミリーに尋ねた	家族は3人、それ以外で滞在していた人がほかの国から来た留学生

O'Reilly	家からバス停まで徒歩20分、バスで15分、往復3.1ユーロ	ホストファミリーが教えてくれた	父母娘2人
Martina Griffith	徒歩で20分	ホストファミリーが教えてくれた	夫婦と韓国、スペイン人の留学生
Lawlorさん宅	バスで30分くらい、値段は言い値だった	Google マップを使ったり、滞在していた他の学生に聞いたりした	ホストマザーのみ。他にイタリアから留学生2名が初め2日のみ滞在。
Bridget	バスと徒歩で30分 往復6ユーロ	通学の初日にホストマザーが大学まで連れて行ってくれた。 次の日からはグーグルマップを使ってバスの時間を調べた。	ホストファザー、ホストマザー、犬(4匹)
Meredith	バスで20分、歩いて30分 毎日歩いたのでお金はかかりませんでした。	ホストファミリーが教えてくれ、グーグルマップでも調べた。	母、父、娘、犬
Carroll	バスで片道20分、往復€5	グーグルマップ	夫婦
mary	徒歩15分	Googleマップによって検索	母親、息子、孫
Padden	徒歩とバスで40分、往復5ユーロ	ホストファミリーが教えてくれた	ご両親、長男、次男、長女
smyth	徒歩30分	ホストファミリーに教えてもらいました。	母、娘、犬2、猫2

25. ホストファミリー宅での時間の過ごし方	26. 滞在した部屋について
<p>平日は子供たちとゲームしたり、映画を見たり、歌ったり、踊ったりした。週末はプール、ランポリンセンター、映画館、公園に連れて行ってもらった。</p>	<p>屋根裏部屋に鏡、ベッド、タンス、椅子、洋服10枚くらいかけられる洋服掛けとハンガー。</p>
<p>平日は17時過ぎに帰宅をし、一緒に夕ご飯を食べた。少し話した後は、お風呂などを済ませて早めに寝ていた。 週末は外出していたことが多かった。 平日週末ともに、夕ご飯は家で食べるように心がけていた。</p>	<p>ワンルームにしては広かったように感じた。 タンスやクローゼット、ダブルベット、ライトや机、いす、ドライヤーがあった。</p>
<p>平日は夕方に帰宅し、共に夕食を食べた。その後はシャワーを浴びて宿題を済ませ部屋でくつろいでいた。週末は基本出かけていたので夕方には帰宅し、共に夕食を食べていた。</p>	<p>2つベットがあり、机、イス、クローゼット、ドライヤーがあった。広さは十分。</p>
<p>平日:基本的に毎日City Centerに遊びに行ってから帰っていたので、ホストファミリーと関わる機会はそれほどありませんでした。 大抵ホストファミリーは既に夕食を食べ終わっていて、日によっては既に寝ていることもありましたが、ただ起きている場合には、今日はどこに行ったのか等話しかけに来てくれることが多かったです。 また、早く家に帰った時には一緒にご飯を食べ、食事後子供たちと遊ぶこともありました。 週末:ホストファミリーが基本的に放任主義で、向こうは向こうの用事を既に入れていたので、毎週友人と出かけていました。人によっては週末ホストファミリーと出かけている人もいて羨ましく思いました。</p>	<p>4畳半ほどの広さで、ベッド、学習机、クローゼットが置いてありました。</p>
<p>平日 ホストファミリーが忙しかったため週2、3回一緒に食事 一緒にビデオゲームをしたり、卓球をしたりした 休日 ほとんど友人と出かけていたため、あまり一緒に過ごしていない</p>	<p>広くて暖かく、快適 洗濯物を自分の部屋に干すことができたのが良かった</p>
<p>基本はご飯を食べて寝るだけ、テレビを一緒に見たり</p>	<p>ベッドと椅子がひとつずつ 少し広い</p>
<p>平日は帰宅後夕食、復習予習、9時過ぎには就寝していた。 休日は子供たちと遊んだり、自室でリラックスしていたりした。</p>	<p>クローゼット、ベッド、デスクスペースを抜くと2畳弱くらいの比較的狭い部屋であったが、自室には寝るために帰ってくるようなものだったので、特に不便さは感じなかった。</p>
<p>平日は夕食を一緒に食べ、一緒にテレビを見たり映画を見たりした。 週末は朝ごはんを自分で食べた後それぞれの時間を過ごして、夕食は一緒に食べテレビなどを一緒に見た。</p>	<p>部屋、クローゼットは十分な広さだった。机とベッドがあった。</p>
<p>平日は、17:00-18:00に帰宅後夕飯を食べる。1人で食べることが多かった。 そのあとはホストマザーにその日の学校での様子や何をしたか等を報告 シャワーを浴びて20:00か21:00に就寝 休日は予定をいれていたためそれに合わせて起床、帰宅後は平日と変わらないスケジュールで過ごす。</p>	<p>ベッドが1つ、机が1つ、クローゼット1つ、ひきだし1つ、電気が天井に1つ、ベッドの横にランプが1つ、広さはそんなに広くない</p>

平日 毎日出かけていたので夜ご飯を一緒に食べ、その日の出来事などについて話した。 週末 何もない日は自分の部屋にいた。	クローゼット、引き出し、ベッド、机、椅子、鏡 広くて収納も多く、過ごしやすかった。
平日 朝は1人、夜はホストファミリーが食べる時間が早いので1人で食べていたが、毎回話しかけてくれた。夕食後はリビングで一緒にテレビや映画をみたり、宿題をしたりしていた。 週末 ホストファミリーは朝が遅いため、自分が出かける時は一人で食べていた。暇な時は一緒にテレビや映画を見ていた。	広さは普通だった。ダブルベッドと枕元に電気スタンド、引き出し、クローゼットがあった。床にスーツケースを開けられる広さがある。
それぞれ自由に過ごした	二段ベッド、タンス、机、テレビ
平日大体7時半に帰ってきて、夕飯を食べてシャワーを浴びて9時半にはベッドに入って10時には寝た。朝は7時ぐらいに起きてた。朝ごはんとの面倒くさかったのでバナナを毎日持っていた。休日とも一日中友達と遊んでいた。なので平日も休日も似たような感じ。ほぼ寝る以外で家にはいなかった。	4畳くらい？ベッドと暖房と机とクローゼット。クローゼットがあったので収納できて便利だった。スーツケースを広げると部屋の4分の1取られるので中身を取り出してスーツケースを端においた。机はほぼ使ってなかった。
平日休日共に夕食を食べお風呂に入り寝る。あまり家にはいなかった	広くもなく狭くもなく。ベッド。洋服だな、机はあった
平日には、一緒に買い物や、話すこと、私を連れて観光地に行くこともあった、週末は、家で洗濯をします、ホストファミリーのママに手伝ってケーキを作ります。	広い、置いてあったもの : hair dryer, plug and socket, closet and hanger など
平日休日ともに自室ですごした	ベッドが2つ置いてあって広々として過ごしやすかった。タンスと椅子があったが、勉強机がなく宿題をするときに困った。
平日の朝は自分で起き朝ごはんを自分で用意して学校に行き 夜ごはんは準備しておいてくれた。 週末は外に出かけていたため、あまり家にいる時間がなかった。	ベッド、クローゼット、ランプ、棚 生活するのに最適な部屋だった。
勉強、日本の家族との会話、ホストマザーとTV番組や映画を観るなど。	狭い。ベッド、クローゼット、テーブル（低い）
平日→早く帰宅したときは夕飯を一緒に食べてその日にあったことや次の日の用事について話した 週末→外出していることが多くあまり一緒に過ごすことが出来なかった。	ベッド、クローゼット、勉強机、椅子。 十分な広さで快適に過ごすことが出来た。
平日は夕食をみんなで食べる、テレビを見る、宿題をする。 休日は馬のお世話をしについて行ったり、犬の散歩についていたり。	部屋は広く、大きなベッド タンスと椅子、 オレンジ系の明かりで暗かったが、おかげで睡眠の質は良かったと思う。
平日はずっとテレビを見る。週末は学校のプログラムで遠足。	1人で寝泊まりするにはちょうど良かったが、寒い。
勉強や他の留学生との会話	勉強机とクローゼットとベッドがある小さな部屋
平日、帰宅後食事をホストファミリーとともにとり部屋へ。週末一緒に散歩したのち食事をともにとり部屋へ。	狭くはない一般的な1人部屋。relaxと書いてある装飾品があった。
夜ご飯を一緒に食べる他は自分の部屋にいた。休日とも観光に行きたかったため、夜ご飯の時しかホストファミリー宅で過ごしませんでした。	ベッド、椅子、クローゼット

27. ホームステイ中に起きた問題や困ったこと、その解決方法

なし。

なし

①シャワーが2日に1回しか使えない②スマホの充電がキッチンでしかできない③家の鍵をもらえない
DCUの受付に相談し、ホストファミリーを変えてもらった

なし

トイレとシャワールームが同じなので、シャワーはなるべく短く済ませるように心がけた

シャワーを使うと騒音が出るため夜中と朝に浴びれない

アイルランドでは、大体の家にセコムやアルソックのような警備システムが設置されており、このシステムを解除せずにドアを開けると、大きなサイレン音が近所中に鳴り響く。

ホストマザーから鍵は渡されていたが、この警備システムを解除するパスコードを教えられていなかったため、一度昼過ぎに帰宅し、家に誰もいないときに鍵を開けたところ、ホストマザーと連絡がつくまでの30分近く、サイレン音が鳴り響いていた。

鍵を受け取った際は、必ず警備システムの有無やパスコードについても併せて聞いておくことが望ましい。

なし

アラームの解除の仕方→暗証番号を入力する

食事の量が多すぎる→少なくしてもらうように頼んだ

なし

なし

なし

シャワーとトイレ分離してなくてかつ共有なんでストレス半端なかった。私がシャワー使ってる時家族がトイレ行けなくて申し訳ないし、逆に家族がトイレやシャワー使ってる
と自分もトイレ行けないので、トイレでゆっくりできないのがストレスで体調悪くした。自分は神経質なんで留学生用のバストイレがあるホームステイ先がいいなと思った。

事前に配られていたホームステイ情報と違った。

なし

なし

なし

ホストマザーと一緒に食事をしてくれなかったので、大学に相談したが、改善しなかった。

なし

朝ごはんはシリアルが主流なようでしたが、私は朝に卵を食べたかったのでお願いしたところ、買ってきてくれました。もしそのような要望があれば初日に伝えた方がいい
と思います。

シャワーは5分とで言われたので毎日急いで洗いました。

なし

なし

なし

なし

28. ホームステイで印象に残ったこと、感想、来年度参加者へのアドバイスなど

私のホームステイ先の方はとても優しく、たくさん話してください、ご飯、家の設備ともに素晴らしかったです。たくさん日常語彙を聞けたり、現地の人の政治への考え方なども聞け、文化を比較できて楽しかったです。ひどい扱いをされたら、現地の大学に相談の上すぐ変えてもらう方が有意義に過ごせると思う。

分からないことや少しでも疑問に思ったことは口に出してみることをオススメします！何を話したら良いのかわからず黙ってしまう時もあるかもしれませんが、何でもいいので言うだけ言っちゃいましょう。そうすると、意外と会話が広がったり、新しいことが知れたりします！

自分から何にでも、これは何だろう、何でなのだろうという風に意識することが大切だと思います。

かなりビジネスライクな家庭がある一方アットホームな家庭があったりと当たり外れ、合う合わないが激しいと感じた。あまりにも厳しいルールがある場合、これが現地の文化なんだと感じる前に、大学の職員に相談したほうが良い。親切に対応してくれる。

今回、ホストファミリーが意外とドライだったことに驚きました。

私は初日に、リビングルームは家族の空間だから入らないで欲しいと言われたため、一緒にテレビを観たりすることもなかったです。家族と留学生との壁をしっかり設けているなというのがとても印象的でした。

研修に参加する前、私は週末ホストファミリーと一緒に外出したりすることを期待していたため、こういった対応に少しがっかりしてしまいました。人によってはホストファミリーと外出している人もいますので、期待を持つなどまでは言いませんが、過度に期待すると落胆することになるかもしれません。

自分は自分で観光を楽しむんだという気持ちで、事前に観光スポットなどを調べておくといいと思います。

ホストファミリーとの関係は自分次第で変わる

かなりスピードの早い英語を使われる、放任主義で寂しさを感じるのは良くない、向こうの家族の生活もあるということを理解してなければいけない、何から何まで全てをホテルのようにやってくれる訳では無い

笑顔と積極的にコミュニケーションを取ろうという姿勢を見せることは重要であると考えます。一方、友人の話では、ホームステイ先によっては、あくまでお金を稼ぐためのよう、ビジネスライクの付き合い方をされる場合もあるので、期待しすぎないことも大切である。また一か月の短期留学だからと我慢することなく、現状の環境を打開するために、現地の大学職員に相談することも効果があるとだろう。

ご飯はポテトばかり出て飽きるので日本からソースや醤油を持ってきた方が好ましい。

ホストファミリーは非常に優しく、旅行の際にはランチを持たせてくれたり、いつも話しかけてくれたり私の拙い英語を一生懸命描いてくれたり親切だった。

コロナウイルス差別がいたるところで頻発していて、石や雪を投げられることもあったので、差別に対して覚悟をしておくべき。海外にしては治安がいいとはいえ、身の回りの携行品の管理を怠ってはならない。また街ではホームレスがお金を要求してきたりタバコの箱を無理やり奪ったりということがあるため、ホームレスを見かけたら目を合わせない、またタバコやお酒などを持っていることが分からないようにすることも大事。気温は日本と変わらない日もあるが風の強さが日本とは比べ物にならないほど強い。そのため毎日とても寒い。防寒具をしっかりと持っていくことを忘れてはならない。

困ったことやわからないことをすぐに聞けるのでよかった。家庭料理を食べられる、現地の生活を体験できることがよかった。家に滞在しているので、あまり緊張せず早く現地の生活に慣れる。帰国後も連絡を取れるので、滞在先との繋がりができる。

自分から話しかけた方が話す機会が増える。ホストファミリーと話せば、より早く会話することに慣れると思う。

ホームステイ先では自分から主張することが大事だと思います。また積極的にコミュニケーションをするといいと思います。

電子辞書を持っていくと授業中すぐに調べられて便利だと思います。また、家庭によっては洗濯の回数が週に1回なので下着類は多めに持っていくといいと思います。

最初から積極的にコミュニケーションを取った方がいい

ホームステイ先では自分から積極的に話しかけるべきだと思う。私のホームステイ先には子供がいたため、子供の世話で忙しく、しかも自分も疲れて帰ってくるので全然干渉してこなくてある意味楽ではあった。ホームステイ先とたくさん話したいなら、子供がいない夫婦の方がいいと思う。

個食が多い

ホームステイで印象に残ったこととしては、その家族がとても親切し、自分がわからないことを聞いたら、必ず解決してくれます、自分が積極的にホームステイの家族にお願いして、毎日の宿題をチェックしてくれました、そして、毎日3個単語を教えてくださいました。

シティーセンターから少し離れると治安が悪かったりするので夜遅くの単独行動は勧めません。

一か月はとても短くやりたいことはやりたいときにやらないとあっという間に終わってしまうから時間を大切に過ごした方が充実した一か月を送れると思う。
とても雨がよく降るため、折り畳み傘は必須だと思う。また、防水機能のある上着があった方が過ごしやすい。
家の中も暖房がつく時間が定められているため暖かい服装や部屋着を持って行ったほうがいいと思う。

はい、いいえ、要望をきちんと伝えること。
感謝を必ず伝えること。

暇な日にホストファザーの買い物についていきました。近所の歴史について伺ったり公園を歩いて回ったりして親睦を深めることができました。

ホームステイ先によりますが、私の家では自分から話しかけないと話す機会がなかったので、小さなことでもその日あったことでもどんどん話すことをお勧めします。
私は最初、なかなか英語が出てこなくて話せなかったのですが、友達と一緒にお昼を食べるときや移動中に日本語ではなく英語を話す練習をして自信をつけました。
一度友達と話したことをもう一度ホストファミリーと話せばスラスラ言葉も出てくるし、そのうち自然に会話ができるようになりました。
アイルランドの人は早口で時々怒っているように聞こえることもあるかもしれませんが、そういうものだと割り切って明るい気持ちで過ごすことが大切だと思います。

ホームステイは当たりはずれがとても大きいのでよくなければすぐに変えるべき。

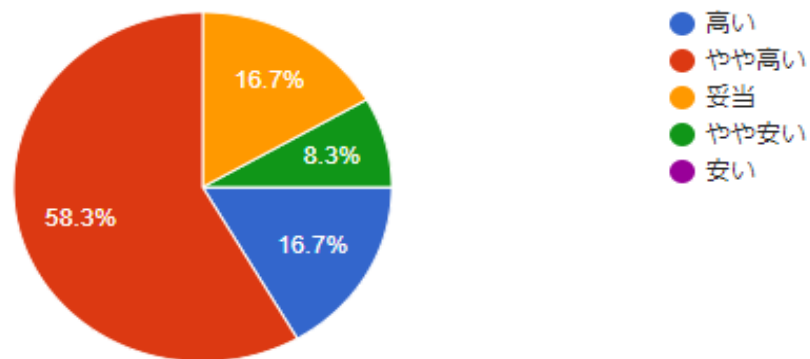
ある程度リスニング力をつけた上で臨むと良い

ご両親がとてもやさしかった。基本的に部屋にいたがもっと積極的にリビングに降りて会話をするべきだったと思う。

洗濯物が1週間に1回の人が多く、下着類をたくさん持っていけないと、向こうで買うことになる。現に今年の参加者も下着類の買い増しをしてる人が多い。

29. 研修全体の費用について

24 件の回答



30. 研修中の食費に大体いくら(ユーロ)使いましたか？	31. 朝食・昼食・夕食は、それぞれどのような場所で何を食べましたか？
400ユーロ	平日の朝食、夕食はホストファミリー宅。昼は学食か、外食です。間食でお金も使いました。
200	朝食 家 昼食 学内レストラン 夕食 家かシティセンター
450	朝食・夕食はホストファミリー宅で食べていました。朝は毎食シリアルで、夜はフィッシュアンドチップスやパスタなどの一品料理を日替わりで用意してくれました。 昼食は学内の食堂かCity centerのレストランで食べていました。食べていたものは日によって違ったのですが、食堂ではラップを食べることが多かったです。(野菜を摂取できる貴重な機会だったので)あと、授業中に先生がよくお勧めのレストランを教えてくださいましたので、そのお店に行ったりしていました。
500ユーロ	朝は家 昼は大学かレストラン 夜は家かレストラン
300ユーロ	朝食は自宅で、トースト二枚とコーヒーを食べた。ほかにもベーグルやワッフル、シリアル等を食べたり、卵やソーセージ等を調理したりしてもよいと言われたが、簡単かつ味にはずれがないこの朝食を結局一か月間続けた。 昼食は大学の食堂や大学近くのレストランで食べるが多かった。基本的に家では野菜不足であったため、昼食はサラダバー等で、野菜の摂取に努めた。物価が高いため、昼食も7, 8ユーロは使う必要があった。 夕食は家で食べることがほとんどであった。アイリッシュ料理を中心に、パスタやステーキなど様々なものがでた。とてもおいしかった。ただポテト(じゃがいも)が日本でいう白米感覚で毎日食卓に並ぶため、ポテトが嫌いな人は、この留学にはむいていないと思う。
210ユーロ	朝食はホストファミリーの家でシリアルとトーストを、昼食は基本大学の学食、夕食はホストファミリーの家でカレーライスやピザ、パスタなどを食べた。
200	朝 家でシリアル・トースト・紅茶・ヨーグルト 昼 学食やパン・サラダ 夜 家でワンプレートのアイリッシュ料理
150	朝食はホームステイ先、昼食はレストランかスーパーで買ったパンやサンドウィッチ、夜はホームステイ先かアイリッシュパブ、レストラン
50	朝食→家で紅茶を1杯 昼→学校の学食か、何も食べない 夕食→家でマザーの作ったごはん
350	朝食 家でパン、パンケーキ 昼食 学食のパン、シティセンター、学校前のレストラン 夕食 家でじゃがいも料理、ポーク、チキン料理など
1000ユーロ以上	朝:家でシリアル 昼:学食でホストマザーが作ってくれたサンドイッチかお店でランチ 夜:家でアイルランド料理のようなもの
80ユーロ	ほとんどhost familyで食べました、偶に昼食は学校の食堂で食べました。
食費と雑費を分けて数えていないので覚えていないが、200ユーロくらい	朝は家でパン、昼は学校か飲食店で食べたいものを、夜は家で出てきたものを食べていた

200ユーロ	朝食はホストファミリーの家でパン 昼食は学食や外食、スーパーで購入 夕食はホストファミリーの家でじゃがいもをメインとした料理
400	朝は家で、昼はお弁当かカフェ、夜は家
150	朝食はホームステイ宅でシリアルなど自分で用意。昼食はサンドイッチなど購入して大学で食べた。夕食はホームステイ宅でパスタなどを食べた。ほとんど一人で食べた。
300ユーロ	朝食 家 シリアル 昼食 最初の一週間は学食だったがそれ以降は外食することが多かった 夕食 家 お肉とマッシュポテトの組み合わせが多かった
200	朝食は家、昼食は学食、夕食は家
50	朝晩は家、昼は学食
200	朝食：ホームステイ先、パンとジュース 昼食：ほぼ大学の学食。たまにシティーセンターで友達や先生から聞いたお店に行った。 夕食：ホームステイ先で家庭料理を食べた。
500	朝食は家、昼食は学食かシティーセンター、夕食はパブ行く日以外は家
150€	朝食、夕食はホストファミリーの家で、昼食は学食や外食
450ユーロ	朝食・家でシリアル 昼食・学内の食堂でサラダ 夕食・家でホストファザーと同じ食事
500	朝 ホストファミリー宅、昼 学食か外食、夜 ホストファミリー宅
32. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に、現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら（ユーロ）使いましたか？	33. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
2000ユーロ	洋服、食費、お土産
200	お土産代、交通費
200・350	交通費、お土産代、観光代（入場料など）
1500ユーロ	食費、交通費、お土産、
300	お土産代はかなりの金額を使った。特に海外限定のスニーカーをこの機会に購入したため、それだけでも85ユーロ程度かかった。
460ユーロ	お土産代、入場料など
350	お土産・外食・交通費
500	お土産代、自分たちでベルファストに行くツアーに申し込んだのでそのツアー費、リーブカードにトップアップする為の費用
400	ネイル代、化粧品代、食費、交通費、お土産代、入館料やツアー参加費
600	お土産代、施設の入館料、交通費など
1000	食事、服、お土産
160ユーロ	毎日のバス代とお土産代、観光の切符代

食費にどれくらいかかったか覚えていないのでなんとも言えないが、現金は100~150くらいクレジットカードは100くらい	交通費と土産
500ユーロくらい	お土産代、休日の観光や交際費、交通費
400	お土産代
現金で50、クレジットカードで100	交通費、お土産代
500ユーロ	お土産代 バス代 観光地への入場料 洋服代
現金100クレジット200	お土産、観劇、アクティビティの費用、チョコレート工場見学、交通費
現金€40カード€40	お土産、外食、
1300	交通費、お土産代、生活する上で足りなかったもの
150	お土産、シャンプーとリンスなどの日用品
80€	食費やツアー代
500	酒代、お土産代
500	お土産代、アクティビティ代、現地交通費、洋服代

34. 日本から持参した電化製品を教えてください	35. 持参すればよかったと思ったもの（電化製品、その他のもの）	36. 持参したが不要だと思ったもの（電化製品、その他のもの）
スマートフォン、ノートパソコン、ドライヤー、コテ、スチーマー、変換アダプター、持ち運び充電器	防水加工の鞆、フード付きの水を弾くような防寒着	ノートパソコン、ドライヤー
携帯電話、ドライヤー、変圧器、ノートパソコン	なし	パソコン
携帯電話、ノート型パソコン、ヘアアイロン、変換アダプター、変圧器	なし	ノート型パソコン
ipad 変換アダプター スマートフォン ひげそり ヘアアイロン	なし	電子辞書
スマートフォン、ノートパソコン、変換アダプター、電子辞書、髭剃り	なし	ノートパソコン
スマートフォン、変換アダプター、電子辞書	エコバッグ、防水撥水加工付きの靴	寝ぐせ直しスプレー、電子辞書、マスク
スマートフォン・ノート型パソコン・電子辞書・ドライヤー・ヘアアイロン・変換アダプタ	なし	ドライヤー・ノートパソコン
スマートフォン、ノートパソコン、ドライヤー、ヘアアイロン、変換プラグ、充電器、モバイルバッテリー	なし	ノートパソコン
携帯電話、変圧器、変換アダプター、イヤフォン	フェイスパック	しょうゆ
スマホ、アダプター、変圧器、パソコン、コテ、充電器	ドライヤー	ノートパソコン 事前にプレゼンなどがあるかとしれないのでパソコンがあったら便利と聞いたが、知る限りパソコンを使った人はいなかった
スマートフォン、変換アダプター、ドライヤー、パソコン	なし	パソコン
スマートフォン、変換アダプター	なし	薄い服
スマホとヘアアイロンと変換アダプター	なし	ドライヤー
スマートフォン、ノート型パソコン、アイロン、変換アダプター	ドライヤー	なし
スマートフォン、変換アダプター	なし	ノート型パソコン
スマートフォン、変圧器、変換プラグ、ノートパソコン、ドライヤー、電子辞書	なし	ノートパソコン
スマートフォン ノート型パソコン 変換アダプター 変圧器 電子辞書	予備の靴（一足しかもっていかなかった） 七日分の服（洗濯が週1だったため）	ノート型パソコン
スマホ、ドライヤー、変換アダプター、変圧器、パソコン	なし	パソコン（一回も開きませんでした）
携帯電話、電子辞書	ドライヤー	電子辞書
スマートフォン、ノートパソコン、変換アダプター、変圧器、コテ、電子辞書	なし	パソコン、電子辞書

iPhone、パソコン、変換アダプター、ドライヤー、ヘアアイロン、海外対応のものがいい。	ない	パソコン。一回も使わなかった。
変換アダプター	なし	なし
スマートフォン、ノートパソコン、変圧器、変換プラグ、デジタルカメラ	ドライヤー	なし
ノートパソコン、スマートフォン、変換アダプター、ドライヤー、コテ、モバイル充電器	なし	ノートパソコン
37. レンタルWi-Fiを使用した感想	38. ホストファミリーとの連絡手段	39. 日本の家族、友人との連絡手段
とても回線も速く使いやすかったが、時々とぎれてしまうことがある。	What's up (アイルランドの人は大体使っていた。)	LINE
容量の半分も使わなかった	gmail	line
接続があまりよくなく、不便に感じることもありました。毎晩の使用量お知らせのメールも機能していませんでした。(毎日使用量0GBになっていた)	WhatsApp	LINE、Instagram
とても悪い 繋がりが悪く、スピードも遅く、容量も少ない、何かがあった時に使えないことが多かった、見れないサイトが多数あった、ミュージックが聞けないなど多い 借りなければよかったと思う	What'sapp	LINE
一日600MG を使う日と使わない日が極端であるため、使わなかった容量を繰り越してできるプランに変更すべきだと思う。	メッセージ	LINE
ほぼ毎日誰かのWi-Fiが不調であった。容量が多く、モバイルバッテリーとしても使えるのはよかった。	whatsappという日本でいうラインのようなアプリで連絡をとっていた。	ライン、インスタグラム
SIMカードでもよかったかなと思う。基本的に接続されたし使用できたが、使える容量に制限があったり、友人のもので不備のモノがあったりなど不便に感じる時もあった。	what's up	line、instagram
必要ない。重いし荷物になるし、接続が悪い。希望者制にして欲しかった。SIMカードを使った方がよっぽどいいと思った。	What's up	LINE、Instagram
配布時に充電がされておらず使えないことがあったためそれは確認すべきだと思った。また充電していても途切れてしまうこともあった。	Eメール	LINE
良かった 学校の行き帰りなど迷子になった時便利だった	What's upp	Line
便利だが繋がりにくい	メール	ライン
あまり使わなかった	Facebook	line
繋がりが不安定で不便に感じることはたまにあったが基本的には問題なかった	LINE	LINE

Wi-FiではなくSIMカードの方が便利だと思った。	What's up	LINE
使いやすかった	SMS	LINE
接続がうまくいかなかった時があったが、速度は問題なかった。	電話	LINE
便利だった。 充電が切れるとかなり困るのでこまめに充電が必要。	WhatsAppというアプリ	Line
一日に使える量が決まっているので、シティセンターやツアーに行くときは帰り道の分が残るよう計算して使うことがポイントです。慣れていない国でWi-Fiが使えないと泣きたくになります。	インスタグラム Wi-Fiだと電話が使えないので不便でした。	LINE
弱い、日本時間でリセットされるので不便	メール	LINE、電話
地図アプリを使う時に便利だった。自分用のWi-Fiを持っていると安心感があった。	Eメール	LINE
まあ、通学ぐらいでしか使わない。あとは家と大学のwifi	What's up	LINE、インスタ、Twitter
あまり良い手段ではない	gメール	LINE
容量が上限に達してしまう日もありやや不便だった。	facebook	Line
とてもよかった。	what's app	LINE

40. 自由時間（放課後、週末など）は、どのように過ごしましたか？

シティセンターに買い物に行ったり、観光地(色々なお城や刑務所、美術館)などにいった。ホストファミリーに現地の人ならではのところにも連れていってもらった。ジムを利用したがとても快適で筋トレと有酸素運動ができた。メインキャンパスにはサウナもプールもある。

友人と外出、旅行

友人とほぼ毎日Citycenterに出かけていました。教会や博物館、植物園に行ったり、パブでお酒を飲むこともありました。

午後に授業がある日は学内のカフェで友達とおしゃべりをしてゆっくりする事が多かったです。

週末は、学校のSocial activityに参加したり、友人と個人的にツアーに参加したりして、色々な場所に出掛けました。

お土産探しと観光 クラスの人などの食事、パブに飲みに行く、

基本的には友人とアイルランド観光をしていたが、運動不足に陥らないため、大学のバスケットボールコート(屋外)でバスケをすることも週に2、3回あった。ボールは現地で安価なものを購入した。

キャンパスからバスでいけるダブリンの中心部で昼食をとったり、買い物をした。また美術館や博物館、公園に行ったりした。

シティセンターや公園へ出かけたりした。

観光（シティセンター、ベルファスト、ジャイアントコーズウェイ、ホースなど）

シティセンターやナショナルガーデン、公園等で過ごした。

オープンスペースの机で勉強、シティセンターで観光、レストラン、カフェ、お土産屋さんをまわるなど。

友達と出かける

自由時間は家に帰ることになりました、家でhost familyと話して、テレビを見て、ご飯を食べて、とても楽しかった。外は寒い、絶対に行きたくない、美味しいものもない。

買い物と観光

シティセンター周辺で観光、ショッピングをしたり海に行ったりした

観光

買い物や勉強。

友人と観光地をまわったり、シティセンターというダブリンの中心街で食事やお茶をしたりした。

シティセンターに行ってお昼ご飯を食べたりショッピングをしたり

美術館巡りやスイーツ巡りをしてました

市街地で観光・パブ

シティセンターで観光や買い物をした。

大学のプログラムに申し込み、英語の授業に参加したり、1日旅行に行った。

午後から自由なのでシティセンターに行き、ランチを食べ、時々パブに行ってお酒を飲んでた。土日大体同じで、観光したり、食べたり、

ツアー参加や、友人との観光

友人とお酒を飲みに出かけた

中心街へ行ったり、スポーツアクティビティをした

41. 危機管理（研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など）

夜にバスの二階席に座らない。歩きスマホをするとすられることがある。木曜日和金曜日は飲酒してる人が多いので気をつける。

なし

コロナウイルスの影響で、空席があっても奥の端の席に案内されるといった軽い差別を受けたり、酔っ払いや子供に怒号を浴びせられることが時々ありました。また、夜に街を歩いていたら子供に石を投げられたことが一度だけありました。20:00以降のCity centerを歩く際は気をつけたほうがいいと思います。

夜のテンプルバー 若者からのコロナウイルスの暴言 アジア人という理由で石を投げられた 雪を投げられた

なし

コロナウイルスかアジア人だからかわからないが、都市部ではたまに差別されたりした(自分自身も友人も)盗難に関しては最低限の注意をしていれば問題ないと感じた。英語の先生から夜にはバスの二階に行かないように言われた。

特になし

友人がシティーセンターを歩いてたら石を投げられたと聞いた。
コロナ差別 (知らない人から指差されコロナvirusと言われるなど)

シティーセンターのアジア料理が立ち並ぶ界隈はアジア人差別が多かった。財布を盗まれた他大学の生徒もいたため、首からかけられるタイプの財布を、外にいたときはもちろん、寝ているときでも常に身体から離さないほうがよい。
バスに乗るときなどにイヤフォンを奪われることがあるため、それも警戒するべき。

スリが多いので貴重品は厳重に扱った方がよい。夜6時くらいに夕飯の場所を探すため大通りの服屋の前に立っていたら子供たちから石、frisbees、ライターを投げられた。また、シティーセンターの街中やバーなどで大人とすれ違う時、コロナウイルスと言われた。夜遅い時間は1人で歩くのは避けた方がいい。特にスパイヤーからGPOの方面は夕方はあまり治安は良くない

シティーセンターの奥のほうは治安が悪い。子供に石を投げられた。
バスの中で違法ドラッグを吸っている人がいた。

ATMは殆ど外(道)にあります、お金を引き出す時危ない。

シティーセンターからすこし外れたところは治安悪かった

夜遅くのテンプルバー付近は危険だと思う。

シティーセンターで中学生くらいの男の子の集団に石をなげられた。暗くなってから日本人の集団でいるのは少し危ない

夜遅くに繁華街に行くのは避けた方がいいと思う。

生きの空港で私のキャリーケースが流れてこなかった。ロストバゲッジしたと思いきなり焦ったが、友人が端のほうにおいてあったのを見つけてくれてひと安心した。しかし立教生を待たせてしまったことに罪悪感を感じた。他の友人は行きでキャリーケースが壊れてしまっていたという。飛行機の乗り継ぎがあると荷物関係のトラブルが多いと後から知ったため、注意が必要だと感じた。

夜中のバスの二階は危ないそうです。

ダブリンは安全な街だと先生もホストファミリーも言っていました。

ホームレスにはよくよく注意するべき。たばこや食べ物をひったくられた友人もいた。

初日に大学で、夜にバスに乗る時は1階に乗るように言われた。また夜のシティーセンターの一部の場所に行くと石を投げられるとクラスメイトから聞いた(新型コロナウイルスが流行り始めた時期だったため)。自分自身は特に危険な目には遭わなかった。また治安が悪いとも感じなかった。

バスの二階には乗らない方がいい。酔っぱらったおじさんが叫んで怖かった。

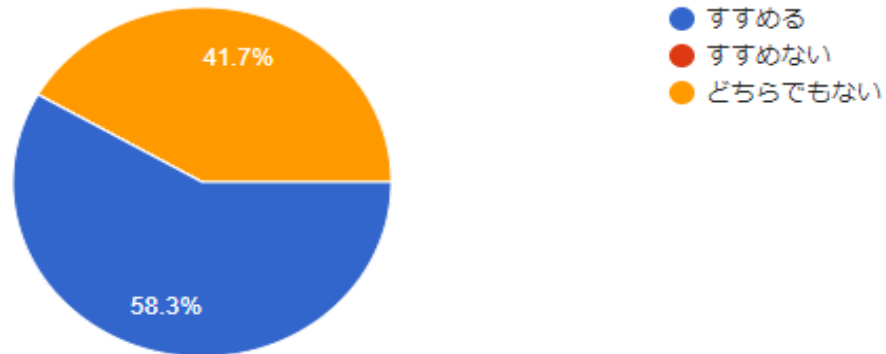
携帯を不注意に起きっぱなしにすること

町中のホームレスの女性にたばこを力づくで奪われ、唾を吐きかけられた

石を子供に投げられたり、アジア人だからなのかコロナvirusと叫ばれたりした、ホームレスに物を取られた

42. 他の学生に、本プログラムへの参加をすすめますか？

24 件の回答



- すすめる
- すすめない
- どちらでもない

43. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。

アイルランドの文化や、言語の違いが直に学べいつもと違う環境に住むことで考え方も変わった。また、私の場合ホストファミリーに子供がいたのであまり知らなかった子供に使う英語の表現や、物を知れてよかった。大学の講義自体もとても有意義なものだった。

観光するスポットが多い

治安も比較的良い

観光としてはとても楽しめたのですが、ホストファミリーにあまり満足できなかったため、どちらでもないを選択しました。

自分でワーキングホリデーなどで来た方が費用も収まるし、自由度も高い時間に縛られることが多く様々な体験ができないことが多かった

語学力の向上を目的にする場合、留学期間が短すぎるため、特別な行動を起こさない限り、際立った変化を実感することはできないだろう。一方で、今後の英語学習や長期留学に対するモチベーションを高める効果は非常に大きいため、その意義を見出せるのであれば、参加することにメリットはあると思う。

週末に行われるトリップに関しては、留学における個々人の柔軟なスケジュールの障壁になってしまう可能性が多分にあると同時に、簡単なスケジュールしか伝達されず、圧倒的に情報量不足であるため、これらの改善が為されないのであれば、今回のプログラムに関して、ネックな一面とならざるを得ないと言えるだろう。

自分自身は行ってよかったと感じるが、一概に勧められるかと言ったらそうではない。いい意味でも悪い意味でも日本人が多かったため、留学経験者や英語に自信がある人な物足りないように感じた。しかし長期留学を考えていて、初めての海外という人にはおすすめできる。

留学の目的次第だと思うからだ。

もし英語力を伸ばすための留学をしたいのなら、長期留学や個人で語学学校へ通ったほうが良いと思う。そのほうがより英語学習にフォーカスすることができると思うからだ。しかし、そうではなく海外の生活を経験してみたい、海外の文化を知りたい、まずは一か月という短期間行ってみようという人には推奨したい。

ホームステイを経験したい人や他国の文化を学びたい人にとっては非常に有意義な研修であると思う。

しかし、語学力を本気で伸ばしたいのであれば自分で語学学校に申し込むなどした方が確実に伸びると思う。この研修を通して語学力が上がったと言われるれば疑問である。

ステイ先や季節によって過ごしやすさが変わるため。

値段もちょうど良く、期間も1ヶ月と長いため。ヨーロッパからの留学生もいる。

日本では絶対にできない経験が出来るため

人生の懐かしいhost family経験です、アイルランドの特徴を感じられます。

一ヶ月知らない土地で過ごしたというのは貴重な経験になったが、語学力が上がった実感はないので、各人がもつ目的意識によると思うから

一か月という短い期間でホームステイを経験することで、今後長期留学を考えてる人には寮がいいのかホームステイがいいのか考えるいい材料になると思ったから。アイルランドという国はなかなか旅行では訪れない国であると思うから。

充実した1ヶ月を過ごすことができたから

英語力が上がるかどうか、コミュニケーションや現地の生活習慣に馴染めるかは個人の感覚、努力によると思うから。

海外での生活を体験してみたい人にすすめたい。様々な観光地を訪れたり、ホストファミリーと話したりと毎日が新鮮だった。今後もっと英語を勉強していつか海外に長期滞在したいと強く思うようになった。

ただ、日本人の参加者が多いため、英語を話す力を身に着けたい人や英語力が十分にありさらに伸ばしたい人にとっては少し物足りないかもしれない。

今回はコロナの影響でアジア人に対する態度が変わっていたと思う。私が聞いた話やガイドブックに載っているようには現地の人たちと接することができなかった。コロナがなかったころのアイルランドがわからないのでどちらでもないを選んだ。

新しい文化に触れることができる。

英語を話すことに慣れるから。また知らない場所で自分の責任で行動することに慣れ自立出来る。異文化に触れることで自分と異なる人に対して寛容になる。興味の幅が広がる。英語の勉強と旅行を同時にできる。将来を考え直すきっかけになる。

英語のリスニング力やスピーキング力が上がるのはもちろん、人間として生きてく力も身につくと思う。あとは、シンプルに楽しい。

基本的な英語習得と海外で生活することの意義や初歩的な手段を身につけることができる。

大学の環境が良いため

食べ物がおいしく、基本的に人が優しい。授業も会話中心で有意義なものだったから。

44. 来年度参加者へのアドバイス

とにかくよく雨が降るので防水の上着と靴と靴はがあると便利だった。たくさん歩くのでヒールと靴両方持っていくといいと思った。また、大概服を買ってしまうので余分に圧縮袋を持って行った方がいいと思う。話したかったのに言えなかった言葉や言い回しを調べて、授業で知ったものをノートに書き留めておくととても勉強に有効だった。

積極的に行動すること、一つ一つの出会いを大切にすること

お金はほぼすべてカードで決済できるので、現金は1-2万円あれば十分

天候が変わりやすく、よく雨が降るのですが、向こうにはあまり傘をさす文化がないようなので、フード付きかつ撥水性の素材のコートを着ていく事をお勧めします。また、向こうでは家の中でも靴を脱がないので、抵抗を感じる場合にはスリッパを持参しておく部屋の中で履き替えられて便利だと思います。あと、意外と交通費や食費がかさむので、心配な場合はカードの上限金額を事前に上げてから出国するのもありだと思います。私は向こうに行ってからカード会社に電話をかけなければいけなくなり、不便な思いをしました。

4週間の過ごし方に関しては、完全に個人の裁量だとは思いますが、私は1度はパブに行く事をお勧めします。向こうの人達は(特にパブにいる方々)気さくな方が多く、日本人というだけで珍しがって結構話しかけてもらえます。貴重な国際交流の機会になると思いますのでぜひ。

服は多めに持っていき自分でなんとかしようと思っただけで行かなければいけないコミュニケーション能力が低い人は行かない方がいい。まずは日本でコミュニケーション能力を上げてから行くべき

撥水性のアウターは必要であると思う。アイルランドでは雨が降っても、風が強いため基本的に傘をさすことはない。このため撥水性のアウターを着ている人が多く、これがあれば汎用性は高いと思われる。

洗濯頻度が低いので、靴下や下着類は最低でも1週間分くらいは持っていき。逆にトップスは、2回着て、1回洗濯するくらいで問題ないので、極度の潔癖症の方を除いて、それほど大量には必要ない。それよりもお土産を入れるスペースと重量的余白を残しておいたほうが賢い。

自分はホストファミリーが三回変わったが、何か問題が発生したら一人で抱え込まずに、友人でも大学の職員でもいいので相談するべき。せっかくの機会なので他国の留学生と交流したほうが楽しいし、勉強になる。

・ホームステイについて
積極的に話しかけたりしてコミュニケーションをとろうとする姿勢が大切だと思います。英語がうまく話せなくても、ホストマザーはきっとそういうところは気にしないはず。今日はなにがあったとか、このテレビ番組は何？とか、今日は学校でこんなことがあったなどなんでもいいと思います。加えて、礼儀正しくいることも。私はいつもつこいくらいありがとうを言うように心がけていました。

・持参すべきもの
日本食をすこし持っていきました。私のクラスの先生が日本食好きな方だったので、最後にプレゼントしてあげました。自分が食べてもいいと思いますし、少し持っていくとよいと思います！

サコッシュのような身につけられる小さなバックは持っていくと安心だと思います。
アイルランドの冬は雨が急に降ってきたりするので、撥水効果のあるダウンがおすすめです。

ノートパソコンは必要ない。非常に重たく邪魔。靴、コートは複数持って行った方がよい。研修中は自ら話しかけるなどの積極性が非常に大事だと感じたので積極的に意欲を持って参加するとよい。

ステイ先で金銭が無くなったと思った際に、ネットで調べたところホストファミリーにお金を盗まれることも多々あるようなのでどこにいても警戒を怠ってはならない。私の場合は盗られた訳ではなかったが、貴重品の管理について反省すべき点も多かったし、滞在中のメンタル的な負担は自分で感じている以上にあると思った。

持参するものに関しては、洗濯が週に1回なので服や下着を多めに持っていったほうが良い。しかし基礎化粧品に関しては、日本とアイルランドでは水の硬さや紫外線の強さが異なるので、肌のコンディションも異なる。そのため、日本で使っている化粧水等を使っても肌荒れが進行することがあるので、現地で現地の水に対応した化粧品を使った方が肌荒れには効果的であったりした。

ダウンはフード付きのものが良い。体育の授業があると聞き運動着を持っていったが選択のため、ジムに本格的に行く人だけが必要だったと思う。雨がよく降るため靴は2足必要。コートも2個あれば便利だった。

そこまでたくさん日本食はいらないと思う

ホームステイに日本のお茶やお菓子などを持ってあげました。

日本から持参するもの(運動着や防水靴、傘)

4週間の研修中の過ごし方、興味があることを贅沢な時間がかかることが大事だと思います。私はhost familyの家族と話すことが大好きでした。

とくになし

ホームステイ先でホストファミリーと合わなかったりした際は学校の方に伝え改善を求めた方が充実した生活を送れると思う。
私は雨で靴がぬれてしまうことを心配して三足持参したが、二足で十分だった。
冬はとても寒いのでカイロはたくさん持っていても無駄にならなかった。
私はカイロが余ってしまいホストファミリーにプレゼントとして渡したら、アイルランドにカイロのようなものはあまり普及していないらしくとても喜んでくれた。

ホストファミリーの家で靴で過ごすのは辛いのでスリッパをもっていくと良い。

傘が強風で使い物にならないので、フード付きの上着、また濡れたり汚れたりしてもいい靴は必須。

英会話をするうえで一番重要なのはホームステイ先だと思う。私のホストマザーは海外旅行が好きのため、行った国についていろいろ話してくれた。また、暇な日の午後にはホストファザーの買い物についていき、近所について色々説明してくれた。

授業は日本人が多いため、日本人同士で固まってしまうことが多かった。後半は韓国人やメキシコ人と話す努力をしたり、SNSを交換したりと国際交流を図り違う国の文化について少し学ぶことが出来た。

反省点は洋服をあまり持参していなかった点だ。私のホストファミリーは週に1度しか洗濯しないため、慌てて服を購入した。これから参加する人は7日分の服と2足の靴を持参すべき。

自分で話す機会を作らなければ、本当に話さずに4週間が過ぎるだけになるので頑張ってください

靴2足以上必要。アメニティはドライヤーを含め、持参するほうが良い。

・ホームステイではわからないことはすぐに聞くと思います。話しかけてもらうのを待つのではなく、自分から話しかけたいと意外と話すタイミングがないです。
・ティッシュ、ウェットティッシュはあると便利でした。カイロはあまり使いませんでした。
強い風が吹くことが多いのでマフラー、防寒着が必要です。雨もよく降るのですが、にわか雨だったり、風が吹いていたりして傘をさしにくいのでフード付きで防水の防寒着がいいと思います。そのためリュックも防水が便利です。靴も同じです。
運動着はジムかスポーツのプログラムに申し込まなければ使う機会はないので無くてもいいと思います。
自分の部屋は土足なのでスリッパがあると楽に過ごせます。

ホームステイ先への要望は何かしら書いたほうが良い。私はバスタイレが共有なのが嫌すぎてストレスが溜まった。後は子供がいない家の方が面倒見てくれると思う。パソコンはまじでいらぬ。

携帯をよく使うので、古い人は買い替えとくといいです

積極的に会話をすると自分を知らせてもらえて良い。

お金を思ったより使うと思うので、カードの上限を上げておいた方がいいと思った。実際友人もカードの上限10万がきてしまいとても困っていた。

45. 英語力について

英語を聞く力と日常生活で用いる語彙が伸びたと思う。また覚えづらかった単語も実際使っているところを聞くと覚えられることが多かった。

リスニングは生活しているだけでも成長した

スピーキングは状況ごとに必要な表現をストックしておくとい

私の場合、英語を話す能力に関しては正直あまり変化がみられませんでした。もっとクラスの外国人のお友達や、ホストファミリーに積極的に話しかけるべきだったなと少し後悔しています。しかし、英語を聴く能力については確実に向上したと思います。向こうの人は話すのが速い人が多く、最初数日はホストファミリーが何を言っているのか分からず困惑することもありましたが、しばらくすると自然と耳が慣れ、以前より英語が聞き取れるようになりました。

あまり変化は期待できないが、会話の仕方は学べるあとは自分次第

リスニング力は微々たるものではあるが、向上を実感できる。

毎日使うフレーズなどは自然に覚えていった。英語力向上というより、英語に対する学習意欲が格段に上がった。

研修当初より耳が慣れたかなと思います。
研修はじめの時はテレビのニュースが何を言ってるか全然聞き取れませんでした。日数が経つにつれある程度はわかるようになりました。
最初は英語を話すことに抵抗があり、全然話せない時もありました。しかし、生活に慣れていくと楽しみながら英語を話せるようになったと思います。
英語力を英語を使ったコミュニケーション力とするならば、すこし上がったのではないかと思います。語彙力などはそこまで変化がないと思うので今後の英語学習を続けていきたいと考えています。

英語を聴くことに関してはホストマザーの英語が前よりも聞き取れるようになったりしたので良くなったと思う。
話すことに関してはネイティブの人に発音を理解してもらえなかったり、伝えたいことを伝えられてなかったりする。でもまだまだこれから成長していきたい。

スピーキングとリスニングに関してはかなり上達したように感じている。買い物をするときも、ステイ先にいるときも、学校の授業もすべて英語なので、英語に触れる時間が増える。さらに外国人の友達を作ることでさらに英語を使う機会が増えるため英語力の向上につながる。

英語で話すことにあまり抵抗がなくなった。スピーキング力が向上した実感はなかったが、ホストファミリーからは向上してるのを感じたと言われた。リスニングに関しては英語の先生の言うことが段々わかるようになったため、上がったと思う。

英語に触れている時間ばかりなので段々と上がっていく

現地の人たちの話は本当に聴き取れない、すごい早口で、方言もあるらしい。先生の話は80%が分かります。

毎日映画を耳にするので聞く力は少し上がった気もするが、それ以外は変化なし

アイルランドの方は基本的に話すのがとても速いため一生懸命聞こうと集中することで、リスニング力が向上したと思う。

リスニング力が上がったと思う。最初はホストファミリーがなにを言っているのか聞き取れなかったけれど、最後の週には大体分かるようになった。

TV番組、天気予報、車のラジオなど身近なところに教材があるので、閉じこもらず積極的に活用すべき。

英語を聞く力がついたと思う。もともとリスニング力に自信がなかったが、生活する中で英語を聞く機会がとても多かったので、最後の週のリスニングテストのスコアはかなりあがった。話す力は正直あまりついていないが、積極的に話そうという姿勢をみにつけることができた。

私は午前中授業で学んだフレーズを午後友達と練習して、家に帰ってからホストファミリーとまた話して定着させるようにしていました。

聞けるようになった。

恥ずかしがらずに英語を話せるようになった。英語に慣れたので緊張しなくなった。会話のスピードや文を組み立てる速度が上がった。困ったことやわからないこともすぐに聞けるようになった。また、相手の質問に対して返事をする速度も上がった。滑らかに話せるようにはなったが、大きな発音の変化は感じなかった。

英語を聞くことに抵抗がなくなったのと、話すことに関しては自分が伝えたいことを言うことはできた。

聞く、話すの一連の流れを理解しようとする力が身につく

発音に注意を向けるようになった。

リスニング力が上がった。ホストファミリーや先生の英語をすんなり聞き取れるようになった。

46. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など

子供が嫌いだったが一緒に過ごすうちに楽しく過ごせるようになった。授業スタイルが会話をよくするタイプだったので積極的に話したりすることができたと思う。また、イギリスとアイルランドはほぼ一緒だと思っていたがだいぶ違うことにいろいろな話を聞いたり場所に行ったりして気づいた。

他国の人との会話からたくさん学び、自分のこれからの生き方への考えが変わった

1つ目の発見は、自分の語彙力のなさでした。正直海外に実際行くまでは自分がここまで単語力がないとは思っていませんでした。受験期にたくさん覚えたはずの単語もいざ話すととなるとぱっと思いつかず、使いこなすことができなくて何度も歯痒い思いをしました。そんな時に、その単語を言い換えたり説明したりするための単語も思いつかず本当に悔しかったです。その点、向こうの授業では英単語を英語の定義で覚えるので、言い換えの表現も同時に学習できていいなと思いました。英語を英語で勉強することの大切さを学びました。

2つ目の発見は、人と自分を比べない事の大切さでした。私のホストファミリーは先にも述べたように放任主義だったため、時々他人のホストファミリーが羨ましくなってしまう時があったのですが、人を羨んでもやもやしている時間ほど無駄な時間はないということに気付いてからは、自分で積極的に観光地に行って、行った先で英語を話したり聴いたりする機会を作るようにしました。人は人、自分は自分と割り切れるようになったという点で自分の成長を感じました。

外国人との会話の仕方を覚えた

今後の英語学習に対するモチベーションが向上した。

視野が広がり、長期留学に行ってみたく感じた。何事に関してもトライすることが大切だと改めて実感した。

今回の留学の目標を「英語を好きになること」としており、それが達成できたと感じている。なぜなら外国の人と話すことが楽しいことだということを見つけたからだ。そもそもこの目標をたてた理由として、今までは英語を話すことに抵抗を感じていて、自分から海外の人と話す機会を遠ざかっていた。しかし海外旅行の際に、友人が私の代わりにすらすらと英語を話す姿を見て、自分もこの抵抗感を取り払い、英語に慣れたいと思ったのだ。研修中、この目標を達成するべく、積極的に話しかけた。話してみると、自分の知らない新たな情報を得ることができたり、意外な海外の文化なども聞いて興味深いことばかりだった。知らないことを知ることがこんなにも楽しいことだと気づかされた。最終的には、外国人と英語で話すことを楽しみ、英語が好きになっていたのだった。この発見を通し、今後も英語学習を続けていくこと、自分から外国の人と関わるチャンスを自らつかんでいこうと考えた。

友達が積極的に現地の人や外国人のクラスメイトに話しかけるのを見て自分もいつまで経ってもモジモジしてはダメだと気付かされた。そのため研修最後の2週間は積極的に外国人と英語でコミュニケーションをとることを心がけた。また、考える前に何事もトライしてみる事が大事だと思った。

トラブルに対応する力が養われたと感じた。例えば、空港でキャリーケースが壊れていた際もキャリーケースを解体して自分で修理できることができるようになったり、Wi-Fiも切れて携帯の充電も切れてしまい家までの帰り方がわからなかったときも、歩いている人に声をかけて家まで帰ることができたり、バスに乗り間違えたときも運転手と話して正しいバスに乗り換えることができたりした。日本では自分からひとにあまり声をかけないので良い機会になった。

積極的に英語で話しかける姿勢

自己主張すること

コミュニケーション能力

何かわからないことがあったらうやむやにせず聞けるようになった。

研修を通して、自分が英語を好きになってしまいました。将来、英語圏の国で暮らして行きたいと考えています。

海外でなんとかやりすごす生活力がついた

普段の私生活において自立したように感じた。

異国の知らなかった文化や習慣を肌で感じる事ができた。

人の暖かさ、優しさを改めて知った。

知らない土地での生活によって、行動力や積極性がついた。

特に留学生や先生と進んでコミュニケーションが取れたこと。

間違えてもいいので、できるまで、わかるまで、何回も練習して、正しい文法などが自然に出てくるように訓練することが大切だと感じた。相手にわかるように説明できなければ知っているとは言えないと気づいた。

4週間を通して積極性がかなり身についたと思う。はじめは自分から英語で話しかけることにためらいを感じていたが、後半では授業中やホームステイ先で自分から話しかけられるようになった。また、東京女子大学の学生も参加しており、積極性が身についたおかげで、彼女たちと観光地を回ることができて帰国後も会う約束ができるほど親睦を深めることが出来た。一か月間で自分の殻を破ることができたと感じている。

留学先はヨーロッパでスリが多いと事前から聞いていたため。危機管理に気を付けており緊張の連続だった。いかに日本が平和で安全な国であるかを実感した。

うまくいかなくてもめげずに挑むことを学びました。

そして落ち込んだ時こそ明るい思考を持つことの大切さに気が付きました。

素朴なことでは、意外とアイルランドに日本にもあるものがあったです。バーガーキングやドミノピザやパンテーンシャンプーなどです。スーパーには寿司も売っていました。

自分のコミュニティやアイデンティティーに第三者の視点を持つことができるようになる。

わからないことがあったり問題が起きても焦らずに自分で解決できるようになった。受け身ではなく自分から行動を起こすようになった。そのため、常に自分の頭で考える習慣が身についた。今までもそうしていたつもりだったが、できていなかったのだと気がついた。英語力に自信がなかったが、「授業→自由時間→ホームステイ」のサイクルの中で繰り返し英語を使うことで緊張しなくなったので慣れが重要だと実感した。発音は癖がついているので意識的に変えることが必要だった。実際に英語を使う上で何が足りないかがわかり、今後の勉強の参考になった。日本とは考え方が違う場所で様々な国の人に会い、日常生活でいろいろな体験をしたことで他者に寛容になり、些細なことも気にならなくなった。海外で生活し、他の国の人に会うことで、日本から離れた場所でも人ごとではなくグローバルな感覚を実感できた。1ヶ月間日本語が通じず、文化や価値観の異なる場所で生活できたことは自信に繋がった。考え方や価値観が変わるので、将来を見つめ直すことに繋がった。

最初はじめての海外でめちゃくちゃ不安だったけど、このプログラムで出会った友達と仲良くなり、毎日本当に楽しかった。あとは、向こうにいるときは日本に帰ったらなんでもできるなって思うくらい人間的に強くなった気持ちになれる。人として自信がつくと思うし、私は周りの子が留学行ってるから自分も行てこうという軽い気持ちだったけど、いろんなことが勉強になった。

英語のインプット、アウトプットを本場で感じることができ、言語習得の流れをつかんだ。

挨拶を臆することなくできるようになったこと

知らない土地で、堂々と行動する自信がいった。他の国の文化を学び、自分の考え方がいかに日本的かを思い知った。